電熱ウエアなど事故68件

消費者庁 注意呼び掛け

リチウムイオン電池

電熱線が入ったベストやジャケットなどの「電熱ウエア」や充電式カイロなど、暖を取るためにリチウムイオン電池を使う製品の事故が、2014年4月から24年9月までに68件報告されていることが、消費者庁のまとめで4日までに分かった。経済協力開発機構（OECD）加盟国が同電池に関する国際共同啓発キャンペーンを実施しており、同庁も注意を呼び掛けている。

同庁によると、リチウムイオン電池を使った電熱ウエアなどの事故は、14～19年度までは1年間に1～5件だったが、20年度以降は増加傾向が続き、21年度には最多の19件に上った。68件のうち電熱ウエアが全体の約半数に当たる35件で、電熱手袋15件、電気毛布7件が続いた。

報告された事故では、着用中の電熱ベストのバッテリーが熱くなり、溶けていたケースや、ポケットに入れて使っていた充電式カイロから煙が出て、取り出した際に地面に落ちて発火した例もあった。

同電池は衝撃や圧力、熱に弱いため落下などに気を付けるほか、暖房器具の近くや布団の中に電池を放置しないよう注意する必要がある。充電中に発火することもあるため、可燃物から離し、様子が見える場所で充電することも重要だという。

消費者庁の新井ゆたか長官は「リチウムイオン電池はさまざまな製品に使われている。危険性を知り、安全に暖かく冬を過ごしてほしい」としている。

事故や再現実験で発熱したリチウムイオン電池が入ったモバイルバッテリー＝2024年12月、消費者庁

航空レーザー測量で地形分析

自治体に呼び掛け

林野庁 災害時活用も

林野庁は、森林資源や地形情報の把握に向け、航空機からレーザーを照射して地表を3次元で計測する測量の実施を自治体に呼び掛けている。森林管理や林道整備に生かすだけでなく、地震や豪雨が発生した際の地形変化を分析し、災害対応にも活用できる。ただ、国内の民有林（私有林と自治体の公有林）で測量と解析が完了しているのは2023年度末で約6割にとどまっており、林野庁はデータの整備を急ぐ。

昨年1月に発生した能登半島地震では、被災地の広範囲で山崩れが発生した。林野庁と国土地理院が連携して現地でレーザー測量を行い、地形を解析。森林に覆われて目視では確認ができない場所でも道路の寸断や地割れなどを把握できるため、「二次災害が起きそうな因子がどこにあるのかが分かり、予防的な措置が取れる」（林野庁担当者）という。

さらに、被災前の測量に基づくデータがあれば、被災前後の詳しい比較が可能となる。実際に、石川県は地震前に測量を実施。林野庁からは、地震後のデータの提供を受けており、県の担当者は「荒廃している場所や状況を把握できるため、治山事業の参考にしたい」と話す。

ただ、全国を見ると、国内の民有林でレーザー測量と解析が完了していない地域が多く残る。林野庁は26年度までに8割の完了を目指しており、今後も補助を通じ自治体の取り組みを後押しする。また、出先機関である東北森林管理局と山形県が協力して国有林と民有林の区域を一体的に測量する事例なども参考に、関係機関の連携を呼び掛けている。

PFAS分解の新手法開発

立命館大 光触媒で、実用化には時間

分解されにくいため環境中や体内に蓄積し、健康被害が疑われる有機フッ素化合物「PFAS」の新たな分解方法を、立命館大の研究グループがこのほど開発した。ナノメートル（ナノは10億分の1）サイズの極小半導体結晶を触媒に、紫色発光ダイオード（LED）の光を当てると、数時間で完全に分解できたという。まだ微量の実験段階で、実用化の見通しは立っていないが、将来的にはフッ素化合物のリサイクル実現につながる技術だとしている。

PFASは1万種類以上あるとされ、水や油をはじく特性を持つことから、泡消火剤やフライパンの表面加工など幅広く使われてきた。国内では「PFOS」など代表物質3種類の製造や使用が原則禁止されたが、排出源から土壌や地下水に染み出しているとみられ、各地の井戸水などから検出され問題となっている。

立命館大の小林洋一教授（光機能材料）らの研究グループは、PFOS0・65ミリグラムを含む水溶液に硫化カドミウムのナノ結晶0・8ミリグラムを入れて、紫色LEDの光を照射した。すると、PFOSは8時間以内に有機化合物とフッ化物イオンに分解された。他の種類のPFASでも、高効率で分解できたという。

従来は紫外線を照射したり、高温高圧下で分解したりする方法はあったが、消費するエネルギー量やコスト面で課題があった。今回の手法では、常温常圧下で光を当てるだけで効率良く分解でき、回収したフッ化物イオンの再利用もできるという。

小林教授は「光が当たった部分だけしか反応が進まないので、装置の構成や設計に工夫が必要となる。できるだけ早期に実用化に結び付けたい」と話している。

「炭素磁石」実用化に一歩

軽量で希少金属不要 京大など

京都大などの研究チームは、炭素を素材に用いた磁石を作ることに成功した。成果は軽量・低コストで高性能の炭素磁石実用化に向けた一歩になるという。論文は9日、英科学誌ネイチャーに掲載された。

高性能磁石は電気自動車やスマートフォン、医療機器などに幅広く使われている。現在主流のネオジム磁石は、重く、加工が難しい上、レアアース（希土類）を必要とするため供給面でのリスクもある。このため、入手が容易で軽い炭素が磁石素材として注目されている。

京都大の坂口浩司教授と小島崇寛助教らは、炭素原子を網目状に並べた極薄シート「グラフェン」をひも状にしたグラフェンナノリボン（GNR）に着目。理論計算で、リボンの両端を左右非対称にすると磁石になることが分かっていたが、合成が難しかった。

坂口教授らは、GNRの「部品」となる非対称形状の炭素分子を設計。これを金属基板上で決まった向きに並ぶよう反応させ、両端が非対称のGNRを合成することに成功した。測定の結果、炭素磁石としての特性を持つことが分かった。

現状では真空中でのみ磁力を維持できるため、坂口教授は「大気中で使えるようにするほか、磁力を強めるなど、実用化にはいろいろな壁を越えないといけない」と話している。

常時点灯の大型スクーター

ホンダは、排気量745ccの大型スクーター「X―ADV」を一部仕様変更して発売。ヘッドライトは昼間も常時点灯にし、周囲の視認性を高めた。前部の風よけスクリーンには植物由来プラスチックを採用し、外装にもリサイクル材料を使用。色は鮮やかな黄色の「マットゴールドフィンチイエロー」など3色。希望小売価格は「イエロー」が147万1800円、その他の2色が143万8800円。

酸から歯を守るデンタルリンス

全薬販売（東京）は、酸から歯を守る液体歯磨き「オーラパールデンタルリンス」を同社通販サイトで発売。飲食後、酸性に偏った口内を中性に戻し、歯の表面のエナメル質が溶け出すのを防ぐ。抗炎症、殺菌、ホワイトニング効果がある成分を配合。虫歯や歯周病も予防する。内容量は280ミリリットル。価格はボトル容器が3300円、パウチ容器は2750円。

ジューシーな鶏もも肉弁当

ファミリーマート（東京）は、弁当「世界の山ちゃん監修　山賊焼弁当」を発売。名古屋発祥の居酒屋「世界の山ちゃん」とコラボ。鶏もも肉はニンニクやショウガを利かせ、しょうゆで下味を付けて揚げた。別添の「幻のコショウ」をかけて食べる。ジューシーさや辛さ、香りが楽しめるという。価格は598円。

1本で8色描ける色鉛筆

ぺんてる（東京）は、1本で8色描けるホルダー式のシャープペンシル型色鉛筆「Multi8（マルチエイト）」から、スケッチやイラストに適した色を厳選した「Art Multi8」を発売。ボディーには中の色が見えるクリア素材を採用。全19種類あるマルチエイトシリーズの別売り替え芯を入れることもできる。価格は2750円で、替え芯と削り器付きのセットは4180円。

翔け！20歳

令和7年 根室市20歳のつどい

令和4年4月1日から、民法の成年年齢の一部が20歳から18歳に引き下がりましたが、「根室市成人式」はこれまで同様20歳を迎える方を対象として「根室市20歳（ハタチ）のつどい」と名称を変更し、実施することといたしました。

●日 時／令和7年1月12日（日）
受付開始/12:30～　式典開始/13:30～
●会 場／根室市総合文化会館 大ホール
（根室市曙町1丁目40）

※式典直前の受付は混雑する恐れがありますので、お早めにお越しください。
※悪天候による順延等により開催方法を変更する場合がございます。
変更の際は、根室市ホームページ・公式Facebook・Instagram・LINEにてお知らせいたします。

◆主　催◆ 根室市・根室市教育委員会　申込・問合先 根室市教育委員会社会教育課 ☎0153-24-3180

根室市で20歳を迎える方の人数
259名

祝　辞
根室市長 石垣雅敏

輝かしい初春に、人生における新たな第一歩を踏み出された皆様、誠におめでとうございます。

ここに根室市20歳のつどい式典が開催され、皆様と共に喜びを分かち合えることを大変嬉しく思います。皆様がこの特別な日を迎えられたことに、心からの祝福を贈るとともに、今後の素晴らしい未来に向けた第一歩を踏み出されることを期待しています。

皆様のご先祖様、親御様、先輩たちが大切に守り続けてきた漁業、食品加工業、農業などの産業を皆様が社会人としての自覚を持って支える存在となることが、ふるさと根室の未来を築くためにとても大切なことです。根室で生まれ育った皆様が、この地を離れて進学や就職をすることもありますが、どこにいても根室の良さや誇りを忘れず、常に地域の人々とのつながりと愛郷心を持っていただきたいと強く願っています。

根室には、今や多くの外国人技能実習生が在住しており、ベトナム、インドネシア、フィリピン、ミャンマーで生まれ育った若者たちが根室の産業を支える大切な役割を果たしています。皆様は、私たちの地域にとってかけがえのない存在です。異なる文化や価値観を持ちながらも、共に働き、学び合うことで、私たちの地域はより豊かで多様性に富んだ地域となっています。皆様がここで成人として新たな道を歩む中で、言葉や文化の壁を超えお互いを尊重し協力し合う精神がこれからの多文化共生の時代に求められています。

若者の皆様の一歩一歩が、未来を創り、皆様一人一人が地域の発展に貢献し、広い社会に向けてその力を発揮することを大変期待しています。

結びになりますが、本日の晴れの日を心から祝福いたしますとともに、皆様のこれからのご健勝、ご活躍をご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

本日は誠におめでとうございます。

根室市

根室市教育委員会教育長
波岸克泰

地域の皆さまとともに、豊かな未来を創造します。
大地みらい信用金庫
理事長 伊藤哲也
https://www.daichimirai.co.jp

清酒
北の勝
株式会社 碓氷勝三郎商店
北海道根室市常盤町1丁目6番地
☎(0153)23-2010

根室商工会議所
会頭 山田康志
副会頭 岡野将光
副会頭 髙岡義久
副会頭 渡部仁志
専務理事 野田敏

根室市選挙管理委員会
委員長 金澤英俊
委員長職務代理者 板澤潤
委員 田中昭人
委員 松田みどり